



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 ユニチカ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3103 URL <https://www.unitika.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上埜 修司
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤本 真澄 TEL 06-6281-5721
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	27,940	△5.6	△676	—	762	△72.8	237	△88.4
2023年3月期第1四半期	29,599	5.5	987	△53.2	2,806	57.5	2,040	62.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △956百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 1,410百万円 (△39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	2.90	1.94
2023年3月期第1四半期	34.09	16.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	190,853	42,678	21.5
2023年3月期	190,003	43,918	22.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 41,023百万円 2023年3月期 42,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	57,000	△3.6	△1,200	—	△900	—	△1,400	—	△26.74
通期	125,000	6.0	1,300	△2.1	800	△25.2	100	△2.7	△3.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	57,752,343株	2023年3月期	57,752,343株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	96,588株	2023年3月期	96,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	57,655,746株	2023年3月期1Q	57,656,564株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	12,000.00	12,000.00
B種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	23,740.00	23,740.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、訪日客の回復、人流の増加に伴い、サービス業を中心に回復基調でしたが、自動車分野においては自動車生産台数は回復しつつあるものの力強さに欠け、電気・電子分野も生産回復には至っておらず、素材産業を取り巻く環境は厳しい状況が続きました。また、エネルギー価格の高騰や円安の進行によるコストの上昇、世界経済の減速による需要の減少などが製造業にマイナス影響をもたらしており、全体的な景況感は底を打ったものの、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、2023年5月に新中期経営計画「G-STEP30 2nd（ジーステップ・サーティ～セカンド）」を公表し、新しい中期経営計画の基本方針である、事業ポートフォリオの再構築、グローバル化の推進、事業基盤の整備を骨子とした各施策を推進してまいりました。

こうしたなか、需要の低迷に伴う販売の減少が影響し、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比5.6%減収の27,940百万円となりました。営業利益面では、販売の減少に加え、エネルギー価格の高騰や円安によるコストアップの影響が大きく、価格改定やコストダウンの効果を大きく上回り、676百万円の営業損失（前年同四半期は987百万円の利益）となりました。なお、米ドルの上昇（円安基調継続）により外貨建資産の為替評価益を計上した結果、経常利益は同72.8%減益の762百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同88.4%減益の237百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社の報告セグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載しております。

【高分子事業セグメント】

高分子事業セグメントでは、価格改定の実施と、高付加価値品の販売が伸長したことで増収となりましたが、エネルギー価格の上昇と、東南アジアにおける収益性悪化の影響を受け、減益となりました。

フィルム事業では、包装分野においては、東南アジアにおいて需給緩和による販売競争の激化、販売価格の下落などの影響を受けました。工業分野においては、電子部品向けフィルムを中心に販売数量が減少しました。これらの要因により、事業全体では減収減益となりました。

樹脂事業では、自動車部品用途において回復の兆しが見られましたが、電子部品用途においては国内外で最終製品の需要が減退していることなどにより、エンジニアリングプラスチックの販売は横ばい、機能樹脂は販売数量が減少しました。海外において、円安の進行により円貨換算の売上は増加しました。これにより、事業全体では増収減益となりました。

以上の結果、高分子事業セグメントの売上高は12,727百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は167百万円（同87.2%減）となりました。

【機能資材事業セグメント】

機能資材事業セグメントでは、建築土木用途は堅調でしたが、電子材料用途の販売回復が遅れた影響が大きく、減収減益となりました。

活性炭繊維事業では、海外向けの販売は伸長しましたが、国内では、浄水器用途や電気電子分野などで販売が伸びませんでした。

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、不燃テント等の建築土木用途の販売は堅調でしたが、電子材料向けICクロスの販売が大幅に減少しました。

ガラスビーズ事業では、道路用途は豪雨災害に伴う工事件数の減少により販売は低調でした。工業用途、反射材用途のいずれについても、販売は不調に終わりました。

不織布事業では、インフラ資材用途の販売は堅調でしたが、生活資材用途を中心に販売が減少しました。

産業繊維事業では、フィルター用途や建築土木資材用途の需要は堅調で、販売状況は前年対比横ばいで推移しました。

以上の結果、機能資材事業セグメントの売上高は7,938百万円（前年同四半期比11.2%減）、営業損失は666百万円（前年同四半期は142百万円の利益）となりました。

【繊維事業セグメント】

衣料繊維事業では、前年から続いている原燃料高などのコストアップに対し、価格改定を実施した結果、採算是正が進みましたが、産業資材用途およびグローバル販売が減少した影響もあり、営業赤字の解消には至りませんでした。衣料繊維分野の販売は、主力のユニフォーム分野は堅調で、レディース衣料や寝装についても販売が回復しました。

以上の結果、繊維事業セグメントの売上高は7,261百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業損失は195百万円（前年同四半期は462百万円の損失）となりました。

【その他】

その他の事業では、売上高は12百万円（前年同四半期比32.1%減）、営業損失は15百万円（前年同四半期は8百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ849百万円増加し、190,853百万円となりました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が減少しましたが、現金及び預金と棚卸資産が増加したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ2,089百万円増加し、148,174百万円となりました。これは、主として賞与引当金が減少しましたが、その他流動負債とその他固定負債が増加したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ1,239百万円減少し、42,678百万円となりました。これは、主として為替換算調整勘定が減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2023年8月7日）公表いたしました「営業外収益（為替差益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,548	11,176
受取手形、売掛金及び契約資産	23,104	22,381
棚卸資産	35,739	37,173
その他	5,506	5,128
貸倒引当金	△53	△53
流動資産合計	74,845	75,806
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	25,996	27,528
土地	62,605	62,620
その他（純額）	19,711	18,119
有形固定資産合計	108,313	108,269
無形固定資産		
その他	2,171	2,122
無形固定資産合計	2,171	2,122
投資その他の資産		
その他	4,783	4,767
貸倒引当金	△110	△112
投資その他の資産合計	4,673	4,655
固定資産合計	115,158	115,046
資産合計	190,003	190,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,269	15,417
短期借入金	4,124	4,095
1年内返済予定の長期借入金	2,643	2,637
未払法人税等	202	166
賞与引当金	1,554	833
製品改修引当金	35	35
その他	9,147	10,693
流動負債合計	32,977	33,880
固定負債		
長期借入金	86,671	86,338
退職給付に係る負債	14,375	14,323
その他	12,060	13,631
固定負債合計	113,107	114,294
負債合計	146,085	148,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	11,476	11,476
利益剰余金	27,467	27,421
自己株式	△57	△57
株主資本合計	38,986	38,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	544	695
繰延ヘッジ損益	4	22
土地再評価差額金	6,244	6,244
為替換算調整勘定	△3,452	△4,691
退職給付に係る調整累計額	△217	△187
その他の包括利益累計額合計	3,123	2,082
非支配株主持分	1,808	1,655
純資産合計	43,918	42,678
負債純資産合計	190,003	190,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	29,599	27,940
売上原価	23,007	23,259
売上総利益	6,592	4,681
販売費及び一般管理費	5,604	5,358
営業利益又は営業損失(△)	987	△676
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	28	26
持分法による投資利益	—	1
為替差益	1,956	1,624
その他	191	122
営業外収益合計	2,190	1,791
営業外費用		
支払利息	260	235
持分法による投資損失	3	—
その他	107	116
営業外費用合計	371	351
経常利益	2,806	762
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	218	161
その他	3	1
特別損失合計	221	163
税金等調整前四半期純利益	2,584	599
法人税、住民税及び事業税	193	76
法人税等調整額	350	351
法人税等合計	544	427
四半期純利益	2,040	172
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△64
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,040	237

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,040	172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	150
繰延ヘッジ損益	3	18
為替換算調整勘定	△663	△1,327
退職給付に係る調整額	61	29
その他の包括利益合計	△630	△1,129
四半期包括利益	1,410	△956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,419	△803
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資 材事業	繊維 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,684	8,937	7,959	29,581	18	29,599	—	29,599
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,464	496	31	1,992	—	1,992	△1,992	—
計	14,148	9,434	7,991	31,574	18	31,592	△1,992	29,599
セグメント利益又は損失 (△)	1,307	142	△462	987	△8	979	8	987

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資 材事業	繊維 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,727	7,938	7,261	27,928	12	27,940	—	27,940
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,113	433	34	1,580	—	1,580	△1,580	—
計	13,841	8,371	7,296	29,509	12	29,521	△1,580	27,940
セグメント利益又は損失 (△)	167	△666	△195	△694	△15	△710	33	△676

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、一部の連結子会社の報告セグメントを「高分子事業」から「繊維事業」へ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分方法により作成したものを記載しております。